

Gemini ㄥ双つの星ㄥ  
(じえみに ふたつのほし)

茅ヶ崎第一学校演劇部

(制作 .. asearoute)

## 登場人物

ラブラ……兄／木月真黒（CV. 桃夜葉月）

ノエル……弟／木月真白（CV. 有村蓮）

メイド長……三橋朱里（CV. イヅカ）

メイド……丸内亜美那（CV. 藤堂れんげ）

ナレーター、部下、家庭教師、写真屋……百地瑛（CV. 伊達琉太）

## 梗概

王子であるラブラとノエルに姫とのお見合いの話が出る。姫に送る写真の写真撮影があるとノエルは聞く。

朝食後、険悪なムードのまま家庭教師と共に勉強。ノエルがラブラより出来がいいことが描写される。先に写真を撮ったラブラ、ノエルが写真をとるという段階になって撮影機を壊す。撮影機を壊したラブラに対してノエルが困ったように怒る。ラブラは見合いでするのは自分だけでいい、といいのける。兄弟喧嘩をするも、仲直りをする二人。かくして、兄ラブラは次期王としての道を、ノエルは母の病を治す薬を開発する研究者としての道を歩むことを決める。双つの星が爛々とこの国を照らしている。

☆ノエルには母の病気をなおす薬をつくるという目標があった。王様になつてはそれができないから、ラブラが王様になればいいと思っっている。

☆ラブラはノエルが王様になるべきだと思っっている。しかしノエルの研究のことを知って、出来損ないだと言われる自分でも人のために、弟のノエルのためにできることがあるのなら王様になると決める。

1. 開幕

ナレーター あるところに、双子の王子様がいました。

さきに生まれた兄の名前はラブラ、後に生まれた弟の名前はノエルといました。双子の兄弟は成長するにつれて、喧嘩が多くなっていってしまいました。

2. 城の廊下（朝）

舞台（照明がつく）

○城 廊下

・ラブラ、上手から下手に歩く。

・ノエル、下手から歩いてあらわれ、ラブラを見て 立ち止まる。

【ノエルは明るく手をあげてラブラに挨拶をする】

ノエル 兄さん、おはよう

ラブラ おう

【しかし、ラブラは短く答えるだけで歩いて行ってしまった】

・ラブラ、そのまま下手へはける

・ノエル、驚いたようにラブラの背中へ呼びかける

18

ノエル

えっ、ちょっと兄さん……！

19

・部下、ラブラと入れ替わりに下手から現れる

20

部下

ノエル様、おはようございます！

21

・部下、中央寄りまで来て立ち止まり敬礼する

22

ノエル

あ、ああ、うん、おはよう……。

23

(まだラブラのことは気になるけれど、といった様子ながら

24

部下に向き合う)……兄さん、機嫌悪いの？

25

部下

ラブラ様ですか？ どうでしょう。先程、国王様と何やら

26

話し込んでおられました(敬礼をやめながら)

27

ノエル

お父様と、こんな朝早くから？

28

部下

はい。隣国(りんごく)の姫がいらっしやるとかで、

29

お二人を姫とお見合いさせると聞きましたよ

30

【ノエルは部下の言葉に不思議そうに首を傾げた】

31

ノエル

……お見合い……？ まだ15歳だよ、僕ら

32

部下

おや、ご存知なかったですか？ 15歳で伴侶を見つけ、

33

18歳になったら王位継承とともに結婚するのが、

34

我が国のならわしですよ

35

ノエル

ああ……そういえば、そう聞いたような……。

36

(記憶を思い起こすように言うノエル)

37

でも、それだと、なんで僕もお見合いするの？

38

王様になるのは兄さんでしょ？

39

部下

双子ですから、お二人に継承権があるのですよ(笑って)

40

【部下はノエルの言葉に笑って答える】

41

【そこへ、今度はメイドの声が聞こえてきた】

42

メイド

ノエル様ー！ ノエルさまあー！

43

ノエル

あ、はあーい！(下手に向かって返事をする)

44

・メイド、下手から歩いて登場する

45

・メイド、部下より上手側に近づき止まる

46

メイド

ああ、ノエル様！ お探ししました。国王様がお呼びです

47

ノエル

お父様が？ ……わかった。ねえ、またあとで

48

部下

ええ、いつでも(うやうやしくおじぎをしながら)

49

・部下、おじぎをする

50

・その後、部下とメイドが下手側へ歩いてはける

51

### 3. ノエルの独白

52

舞台) ノエルが中央に立っている

53

ノエル

そして、お父様から聞かされたのは……。

54

姫とお見合いをして相性のよい方を結婚させる、つまり、

55

次の王様とさせるということだった。それで兄さんは

56

不機嫌だったんだ、兄の自分が王になれると思って

57

いただろうから。

58

舞台) 暗転・場面転換

59

#### 4. ノエルとメイド長

60

○城 廊下、ガーデンテラスが見える

61

・ノエル、下手側から歩いていくる

62

・ノエルは何かを考え込むようにしながら歩いている

63

・そこへメイド長がやってきた。

64

・メイド長もノエルもお互いに気づいていない。

65

・メイド長、上手側から歩いてくる

66

・ノエル、メイド長、舞台中央で軽くぶつかる

67

ノエル わ、っと。あ、メイド長……、ごめん

68

メイド長 いえ……あら、ノエル様

69

【メイド長、ノエルを気遣うように顔を見て優しく

70

尋ねる】

71 メイド長 ご機嫌いかが？

72 【ノエル、ラブラのことで悩みながらも、  
取り繕う】

73

74 ノエル ……悪くないよ

75 メイド長 本当ですか？ 朝食の件もありますし、何やら顔色が悪い  
76 気がいたしますが

77 ノエル 大丈夫だよ。ありがとう

78 メイド長 ……ラブラ様も同じことをおっしゃっていました  
79 ノエル 兄さんも？

80 メイド長 はい。お見合いの件でしょうか

81 ノエル ……ねえ、あなたは、僕と兄だったら  
82 どっちが王様に向いてるとおもう？

83 メイド長 そんなこと、恐れ多くて言えませんわ

84 ノエル ……ここだけの話。口外しないから

85 メイド長 ……そうですか。（困ったように腕を組む）  
86 ……ううん…、私は、どちらが、というよりも…、  
87 王様になれる方が王様なのだと考えます。  
88 向いているとかは別として、王様になるべくしてなった、  
89 その方こそ資質があるのだと思います。

90 【ノエル、メイド長の言葉をしょんぼりした様子で

91 聞いている】

92 ノエル そう……、……ずるいね（自分の求めた“ラブラが向いて

93 いる”という答えが聞けなくてやや残念がっている）

94 メイド長 すみません、お許してください

95 ノエル あはは、大丈夫。そんな大げさな問題じゃないから

96 メイド長 なら、よいのですが……。ノエル様は本日のご予定、

97 お聞きになりました？

98 ノエル ううん、まだ

99 ・メイド長、ポケットから時計を取り出す

100 【メイド長、エプロンのポケットから時計を

101 取り出し、文字盤を見ながらノエルに言う】

102 メイド長 お昼までは家庭教師による勉強、昼食のあとは写真撮影が

103 ございます

104 ・メイド長、時計をエプロンのポケットへとしまう

105 ノエル ん……写真撮影？

106 メイド長 ええ。姫へお渡しする写真ですわ

107 ノエル ああ、そういう……。……夕食は？



108 メイド長 王妃様はふせっておられますから、国王様とラブラ様、

109 ノエル様でのお食事となります

110 ノエル そっか。お母様はまだ……起きない？

111 メイド長 はい。……お医者様も困ってしまいました。

112 お目覚めになっても、食事をすると吐いて

113 しまわれますし、 見ているだけでお辛そうで……。

114 近頃はお薬のおかげで病状もよくなっていたはず

115 でしたのに

116 ノエル ……早く良くなって、みんなで食事したいね

117 メイド長 ええ、そうですとも。それではノエル様、

118 私は仕事がありますので

119 ノエル うん、またね

---

120 ・メイド長、会釈をして下手側へ歩いてはける

121 ・1人舞台に残っているノエル、上手寄りの中央まで歩いて、

122 ・テラスの柱に手を添えて立つ

123 ノエル 勉強ってことは、兄さんと一緒か……。

124 (今朝のことを思い出しながら)

---

125 舞台) 暗転・場面転換

126 x x x 回想

127 5. 回想 朝食

128 舞台（照明つく）

129 ○城 食堂

130 ・大きなテーブルに上手側にラブラ、下手側にノエルが並んで座っている

131 ・両端に、国王と王妃が座るはずの椅子が置かれている

132 ・メイドが下手側のほうに立っている

133 ・メイドのそばにお皿などの食器や水が入られたびんがおいてある台車がある

134 ノエル ……いただきます

135 ラブラ ……。

136 ・食事をする2人

137 【ラブラは何もしゃべらず食事をしている】

138 【ノエルがメイドに尋ねた】

139 ノエル ……お父様は？ 朝食、たべないの？

140 メイド 王妃様とご一緒にということ、本日はこちらへはおいでに  
141 なりません

142 ・メイド、手を組んだままでノエルの問いに答える

143 ノエル そう……

144 ラブラ ……………（のみものを飲み干す）、おい、水

145 ・ラブラ、メイドのほうに顔を向けていう

146 ・メイド、すぐに近くの台車から水の入ったびんを持ちラブラの席へ近づく

147 メイド はい

148 【メイドはラブラのほうへ水を持っていく】

149 ・メイド、水をラブラのグラスへ入れ始める

150 ・そこへノエルが話しかける

151 ノエル ……………今日のスクランブルエッグもおいしいよ

152 【メイドはラブラへ水を差し出しながら答えた】

153 ・メイド、水をグラスへ入れながらノエルのほうへ顔を向けてほほ笑む

154 メイド それはよろしゅうございました。

155 コックにもお伝えいたします（ガチャン）

156 あっ!？

157 【メイドの持っていたびんがグラスにあたり、

158 グラスが倒れ、水がラブラの服にかかってしまった】

159 ・メイド、水をこぼしてラブラのほうを見る

160 ・水がラブラの服や料理にかかる

161

ノエル

あっ……！

162

【メイドはかなり慌てたように、テーブルの上へびんを置き、ラブラに向かう】

163

メイド

ラブラ様……！ も、申し訳ございません、

165

すぐにふくものを

166

ラブラ

……おい

167

メイド

はひっ……

168

・ラブラ、水にぬれた顔を腕で拭いながらメイドをにらみつける

169

ラブラ

2つのことを同時にできないならメイドなどやめてしまえ

170

・メイド、委縮してとにかく謝る

171

メイド

っ……もうしわけ、ござ、いませっ……

172

ノエル

に、兄さん、そんなこと

173

【ノエル、言い過ぎだといおうとするが、ラブラに

174

咎められる】

175

・メイド、兄弟が話しているなか、受け取った布巾で

176

・ラブラの服を中腰になりふきはじめる

177

ラブラ

お前もお前だ。そんな感想を今伝える必要があったか？

178

ノエル

それは……、……ないかも、しれないけど……

179 ラブラ そうやって邪魔をするのはお得意なくせにな

180 (自分が国王になれないのもお前のせい、という比喩)

181 ノエル なっ……

182 ・ノエル、手にしていたフォークを置く

183 ・メイド、慌てたように立ち上がる

184 メイド わた、私が悪いのです！ 私だけが悪いのです、

185 えっと、ええっと

186 ラブラ お前が悪いことは誰が見ても分かるんだよ。

187 もし俺じゃなくて来賓に同じ事やったらどうするんだよ？

188 あ？

189 メイド ふ、ふきます……

190 ・ラブラ、立ち上がる

191 ・メイドの手から布巾を奪い取ると、顔めがけて投げつける

192 メイド あっ

193 ・布巾がメイドの顔にあたり床に落ちる

194 ノエル 兄さん！

195 ・ノエル、立ち上がる

196 ・ラブラ、ノエルのやめるような声を気にせず続ける

197 ラブラ  
ふきやいいってもんじゃねえだろうが！ 仮にも王家に

198 仕えるメイドだろうが お前は！

199 メイド  
は、はい、そうです…：…申し訳、ありま、せん…：…

200 ・ノエル、メイドをかばうように、メイドの肩をつかみラブラに言う

201 ノエル  
兄さん、もうそのへんで

202 ラブラ  
うるせえ！

203 ノエル  
兄さんったら！

204 ・そこへ、メイド長が上手側から現れる

205 【メイド長はあわてた素振りを見せることなく自然  
にラブラへと声をかける】

206

207 メイド長  
ラブラ様、お着替えをご用意いたしました。あちらへ

208 ラブラ  
…：…ふん（不機嫌そうにノエル、メイドへ吐き捨てる）

209 ・ラブラ、上手側へはける。靴音大きめに鳴らしながら

210 ラブラが行ったのを見て、メイド長は落ちていた布  
巾をひろい、新しい布巾をメイドに手渡す

211

212 ・メイド長、布巾をひろいテーブルの上におく

213 ・メイドに新しい布巾を渡す

214

メイド長 ……ほら、あなたも、早くテーブルの上を拭きなさい

215

(少し励ますように)

216

メイド は、はいっ……ぐすっ……

217

・メイド、布巾を受け取る

218

ノエル ご、ごめんね、僕のせいでっ……

219

メイド うっ、ひくっ……ノエル、さまは、わるく、ないですう

220

ノエル そ、そう？ ……僕も手伝うよ

221

メイド いえ！ いえ、それは、いえ、おやめください。

222

またラブラ様に叱られてしまいますから……(涙目で)

223

ノエル ……、……そう。分かったよ(残念そうに)

224

舞台) 暗転・場面転換

6. ノエルの独白

225

舞台にはノエル1人

226

○城 廊下、ガーデニングテラスが見える

227

ノエル ……はあ。(ため息)さっきのあとで一緒に勉強、

228

なんて……。お母様に会いたいなあ……。

229

・ノエル、上手側に歩いてはける

230

231

舞台) 暗転・場面転換

232 7. 家庭教師と兄弟（昼前）

233 ○部屋、昼前

234 ・テーブルがあり、下手側にノエル、上手側にラブラが座っている

235 ・家庭教師（チューター）は中央に立っている

236 ・中央後ろにあるボードに数式が書いてある

237 家庭教師 では、ノエル様。問題に提示されている等式に数字を

238 あてはめたら、第一問の解はどうなりますか？

239 ノエル はい、104（ひゃくよん）です

240 【家庭教師、満足げにうなづく】

241 家庭教師 よろしい、正解です。ではラブラ様、少し難しいですが

242 第二問を解いてみましょう

243 ラブラ ……はい（書き始める）

244 ・ラブラ、紙にペンで書き始める

245 ・家庭教師、その様子を見ている

246 ・ノエル、ラブラが解く間、紙を持ち上げ、第二問をじっと見ている

247 家庭教師 ……そう、微分係数を使うのですよ。そう、それでいいです。

248 0（ゼロ）になりますね

249 ラブラ ……なるのかよ



250 家庭教師 なりますね

251 ラブラ ……わかんねえな（投げやりな気持ち）

252 ・ラブラ、ペンを置いてしまう

253 家庭教師 おやおや、諦めないでください。あと少しですから

254 ・問題を見ていたノエル、家庭教師に声をかける

255 ノエル ……チューター、これは微分係数よりもスネルの法則を  
使って考えたほうが良いように思います

256

257 ・家庭教師、ラブラからノエルへと視線をうつす

258 家庭教師 ……ほう。どんなふうですか？

259 ノエル はい。えっと、ここが20になるのなら、これが動く  
角を計算して……

260

261 ・ノエル、ペンで書きながら説明する

262 ・家庭教師、ノエルがかく様子をのぞきこむように見る

263 ・ラブラは2人の様子を面白くなさそうに見ている

264 ノエル そして、この数字をスネルの法則を使って求めれば、  
等式にあてはめることができる……。

265 ……うん、これで 解が出た。98 ですか？

266

267 家庭教師 おや……素晴らしい。ええ、解は 98 ですとも。応用も考え

268 られるとは素晴らしいですよ、ノエル様

269 ノエル そうでしょうか（はにかみながら）

270 ラブラ ……（むっすーとした顔）

271 ノエル 兄さん、このやり方でやってみたら？

272 【ノエルがそう提案するも、ラブラは不機嫌そうな

273 顔で一言発するのみだった】

274 ラブラ は？

275 ノエル え？

276 ラブラ なんでお前と同じ解き方をしないといけないわけ？

277 ノエル ……え、いや、僕は（そうじゃなくて、と言おうとする）

・ラブラ、ノエルを無視して家庭教師に声をかける。

278 ラブラ チューター。さっきの続き教えて。微分係数で 0（ゼロ）

279 にすりゃいいんだろ

280 家庭教師 はい、そうですよ。連鎖法則は覚えていますか？

281 ラブラ ……少しだけ（顔を下に向けながら）

282 家庭教師（ラブラの様子を見てほほ笑み）ならば一緒に

283 解きましょう。ノエル様は次の問題を考えてみてください

284 ノエル ……はい

286 ・ノエル、ラブラ、家庭教師の動きが止まる。

287 舞台) 少し暗くなる。

288 ・ノエルが立ち上がる。スポットライト同時に。

289 ・ラブラ、家庭教師は止まったまま。

290 ・ノエル、立ち上がりテーブルの前(客席側)へと歩く。

291 ・ノエルに合わせてスポットライト動く。

292 ・ノエル、上手側(座っているラブラ)に背中を向ける。

293 ノエル 兄さんは……どうしてそんなに僕を疎ましく扱うのかな。

294 心配しなくても、僕は兄さんを王様にするつもりだし、

295 なって欲しいのに。弟なら王様になることはないと思って

296 いた。兄さんにももらえれば、僕はやりたいことが

297 できるって、そう思っていたのに。

298 突き放すなんて悲しいよ、兄さん

299 ・ノエルの動きが止まる。スポットライトそのまま。

300 ・ラブラが立ち上がる。スポットライトつく。

301 ・ラブラ、立ち上がりテーブルの前(客席側)へ出てきて下手に背中を向ける。

302 ・ラブラにあわせてスポットライト動く。

303 ラブラ 俺よりノエルのほうが優れているのは分かっている。

304 読む本の量が違うんだ、俺より頭がいいのは当たり前だ。

305 それでも……、もし俺が王様になれなかったら、兄なのに

306 なれなかったら、それこそ……俺の存在意義も存在価値も

307 なくなる。それなら、あいつをどうにかして蹴落とすしか

308 ないじゃないか。

309 ・ラブラ、ノエルが背中合わせにすることで、向き合っていない様子を比喻。

310 舞台）暗転・場面転換

311 8. 食堂（昼）

312 ○食堂 昼

313 ・お皿を並べているメイド、メイド長。

314 ・メイドはなぜか泣きながらグラスを1つおく

315 メイド うっ、ぐす

316 ・お皿を置いたメイド長、メイドに話しかける。

317 メイド長 まだ今朝のをひきずっているの？

318 ・メイド、グラスをまた1つ置いてメイド長を見る

319 メイド ちがい、ます、さつき、ノエル様が

320 メイド長 ノエル様が？

321

メイド 今朝はごめんねって、おかしを……、

322

私なんかにおかしをおお

323

・メイド、そういいながらポケットからお菓子を取り出す。

324

・メイド長それを見て呆れたようにする。

325

メイド長 ノエル様ったら……、お出ししたものを食べずに

326

とっておいたのね

327

メイド 感動してしまいましたええ

328

・メイド、そういいながらお菓子をポケットにいれなおす

329

メイド長 これから昼食なのですよ、涙をひっこめなさい

330

メイド はいっ……

331

メイド長 ……それにしても、おかしいわね。いつも、

332

ティータイムはきちんとお菓子もお茶も召し上がっていた

333

はずだけれど……

334

メイド あ、なんだか、誰かに差し上げているそうですよ

335

メイド長 誰かに？

336

メイド 王妃様へお手紙届けるときに聞いたことがあります

337

(だんだん泣き止む) 今日はどうかな、とか。

338

これはおいしいんだよ、とか。

339

子猫かりスカ……でしょうかね

340 メイド長 ……そうかもしれないわね。まあいいわ。早くお皿を並べて

341 メイド はいっ！

342 ・メイド、メイド長、引き続きお皿やグラスやバスケットを並べているなか

343 ・舞台暗転、場面転換

344 9. 城の廊下 昼

345 ○城の廊下

346 舞台）照明がつくと同時に中央にノエルが思案顔で立っている

347 ・メイド長、下手側から歩いてくる。

348 メイド長 ノエル様、昼食のご用意ができました。

349 ・ノエル、メイド長の声に気づいたように下手側を見る。

350 【メイド長を見たノエルは笑ってうなずいた】

351 ノエル はい。すぐ行きます

352 メイド長 それから。メイドから、お菓子をいただいたと

353 ノエル あ……。……今朝、悪いことしちゃったから

354 メイド長 誰のためのお菓子ですか？

355 ノエル ……えっと……。いわなきゃだめ？

356 メイド長 察しはついています。王妃様でしょう

357 ノエル ……バレてたか。うん、お母様にね。

358 ……起きてくれないんだ、お母様……

359 メイド長 ……お目覚めになったとしても、寝起きにお菓子は  
いけません。消化のよいものでなければ

360 ノエル ごめんなさい

361 メイド長 ですから、王妃様がお目覚めになったときは、きちんと  
お申し付けくださいね。コックに作っていただきます

362 ノエル ……！ うん！（パッと笑顔になって）

363 メイド長 私としても、心配なのです。2日3日（ふつかみっか）  
続けてお眠りになり、お目覚めになったかと思えば

364 また寝込んでしまわれて……。

365 ……なんの病気なのかも……、

366

367

368

369 ・メイド長が話す後ろにラブラが上手側から歩いてくる

370 ・ラブラ、中央寄りにある柱の後ろに隠れるようにしながら、

371 ・メイド長とノエルの様子をうかがう

---

372 ノエル ……それは、大丈夫だよ

373 メイド長 ……え？

374 ノエル 僕が……なんとかする。黙っていようと思ったけど、この際

375 だから言うね。僕、研究者になりたい

376

メイド長

……けん、きゅうしゃ？ ノエル様はそんなことを

377

なさらなくてもよいのですよ？ ただ基本的なお勉強が

378

できれば

379

ノエル

それじゃだめなんだ。お母様を助けるには、からだのこと、

380

病気のこと、薬のことを、もっと知って、調べて、

381

お母様の病気を治す特效薬を作る必要がある！

382

メイド長

……お医者様に任せておけばいいのですよ、研究も

383

彼らのお仕事です

384

ノエル

ううん、今までの医者も薬はないとか、適さない薬を

385

使ったりして……お母様の病状は悪くなるばかりだ。

386

僕はお母様を助きたいんだ。起きているお母様とお話が

387

したいんだよ……

388

・ノエルが話すうしろでメイドが上手側から歩いてくる

389

メイド長

……ノエル様……

390

・ラブラ、その場を離れようとして振り返る

391

・メイドとラブラがぶつかる

392

メイド

わ、たっ、んっ！

393

・ノエルとメイド長、声が出たメイドのほうを振り返る



394

メイド長 ?

395

ノエル ?

396

メイド あ、も、申し訳ありませんラブラ様っ……

397

【メイド、おびえたようにあわてて頭をさげる】

398

ラブラ ……

399

ノエル 兄さん……！

400

・ラブラ、ノエルたちのほうを一瞥し、メイドを見る

401

メイド あと、あの、ご昼食の……準備が……

402

ラブラ わかった

403

・返事をしたラブラ、そのまま歩いて上手側に歩いていってしまう（はける）

404

メイド あ、はいっ……

405

メイド長 こら、あなた また人にぶつかって。いい加減ちゃんと

前を見なさい

407

メイド す、すみませんっ

408

メイド長 そんなだからラブラ様も怒ってしまうのですよ

409

・メイドとメイド長、上手に向かい歩き始める

410

メイド でも、さっきは怒らなかったですよ

411

メイド長 そういう問題ではありません

412 ・メイドとメイド長、会話しながら上手へはける。

413 ・ノエル、ひとりつぶやく。

414 ノエル 兄さん……今の話、聞いてたのかな。

415 ・ノエル、2人をおいかけようように上手へ向かう

416 ノエル あ、待って、僕も昼食にするんだから！

417 ノエルがいなくなった舞台、暗転・場面転換

418 10. 写真撮影 昼

○部屋 昼 写真撮影シーン

420 ・部屋で見合い用の写真をとるラブラ、ノエル

421 ・正装の2人が上手側、写真屋が下手側、

422 ・上手側にお世話係としてメイド・メイド長がいる

423 ・上手側に椅子が1つある

424 メイド長 さあさ、おふたりとも、どうぞ。昼食後すぐですみませんが

425 メイド わく、ノエル様もラブラ様も素敵です！

426 ノエル そう？

427 ラブラ ……悪くないな

428

写真屋

おお、いいですねえ！ やはり王子様は正装が一番ですな。

429

さあさ、ラブラ様からお撮りしましょう

430

・ラブラ、下手側にある撮影機に近寄る

431

ラブラ

……それって、フィルム？

432

写真屋

え？ ああ、はい、そうです。本体が壊れても

433

フィルムさえあれば写真にはなりますから

434

ラブラ

……ふーん。

435

・ラブラ、撮影機から離れて中央寄りに立つ。

436

ラブラ

……ん（通常のポーズ）

437

写真屋

はい、いいですよ。いきますね、ほい

438

効果音？…パシヤ

439

【写真屋がシャッターを押すとパシヤンと光が

440

大きく出て撮影が行われる】

441

・ラブラ、写真屋に言われるままポーズをとる

442

写真屋

あと2枚とりますよ。体の向きを変えてみましょう。

443

左に、ああ、いいですね。はい

444

効果音？…パシヤ

445

【写真屋がシャッターを押すとバシャンと光が

446

大きく出て撮影が行われる】

447

写真屋

あと1枚とりますよ。今度は腰に手をあててみましょうか。

448

……うん、いいですね、そのまま。はい

449

効果音？…パシヤ

450

【写真屋がシャッターを押すとバシヤンと光が

451

大きく出て撮影が行われる】

452

写真屋

はい、終わりです。フィルムをかえますから、その間に

453

ノエル様、どうぞ。ラブラ様はそちらの椅子で

454

おやすみください

455

ノエル

はい

456

ラブラ

……（ふん、という小さい鼻息）

457

・ラブラ、上手ではなく下手の写真屋のほうへ歩く

458

ノエル

……兄さん？

459

【気づいたノエルが声をかける。それにつられ、

460

メイドとメイド長も彼を見た】

461

・メイドとメイド長、ノエル、ラブラを見る。

462

・ラブラはまっすぐ写真屋のほうへ歩き、撮影機の前で止まる。

463 写真屋 ……何か、ありましたかな？

464 ラブラ ……別に。ただ

465 ・ラブラ、撮影機をにらみつける

466 ラブラ コイツを壊したくてな！！（足で撮影機を倒しながら）

467 ・そういうがはやいか、ラブラは撮影機を倒した。

468 ・激しい音が部屋に響く。

469 メイド キャー！（驚いて）

470 メイド長 ラブラ様！

471 写真屋 ラブラ様！！何をなさるんですか！

472 ラブラ 弁償ならいくらでもしてやるよ！ ふんっ！

473 ・バキバキに壊される撮影機、壊すラブラ

474 ノエル ……兄さん（力なく）

475 ラブラ つの、くそ、がっ！ んっ、っ！

476 ・ガンガン、と撮影機を蹴りまくるラブラ

477 写真屋 ああ、わたしの、わたしの相棒が（弱々しそうに）

478 ノエル つ……（写真屋をみて傷ついた顔をする）、兄さん、

479 やめて、やめてってば！！

480 ・ノエル、思わずラブラに後ろから抱きつく

481

・しかしラブラはそれを払い除ける

482

・ノエル、勢い余って尻もちをつく

483

ノエル いたっ

484

メイド ノエル様！

485

・ノエル、左手でメイドに来ないように静止の合図をする

486

・それを見たメイドは立ち止まる

487

メイド ノエル様……（心配そうに）

488

・ノエル、尻もちの状態から立ち上がり叫ぶ

489

ノエル やめてよ、兄さん！ どうしてそんなことするのさ！

490

ラブラ うるせえ！ お前には関係ないだろ！

491

・ラブラ、撮影機を壊すのをやめる

492

・ノエルとラブラの後ろで、メイドとメイド長が心配げに見ながら会話

493

メイド どっ、どうでしょう、メイド長

494

メイド長 何もできません、今は様子を見ましょう

495

ノエル 関係あるよ、お願いだから僕の話聞いてよ！

496

ラブラ お前の話は聞き飽きたんだよ！ たった数分でも先に

497

生まれた俺が長男、ガキはおとなしくあとを

498

ついてくりゃいいんだよ

499 ノエル 兄さんの弟だもの、子供だというなら兄さんも

500 そういうことになるけど

501 ラブラ は？ 責任も何もかもお前とは背負ってるもんが違うのに

502 同じなわけないだろ！

503 お前は黙って俺の言うことを聞け！

---

504 ・ラブラ、撮影機を下手方向に蹴り飛ばす

505 ・壁にぶつかった撮影機がとまる

506 ラブラ っはあ、はあっ……。お前が……。ノエルが頭いいことは

507 よーくわかってる

508 ノエル ……兄さん

509 ラブラ 俺は！ 俺だって、お前と同じだ！ お母様もお父様も

510 大事だと思っている！

511 ノエル ……っ、やっぱり、聞いていたんだね

512 ラブラ そうさ、聞いていた。本当は研究者になりたいこと、

513 お母様の病気をなおす薬を開発したいこと。

514 ……王様になると、それができなくなる。

515 馬鹿な俺でもわかる

516 ノエル 兄さんは馬鹿じゃない

517 ラブラ よせよ、そういうの。気持ち悪いから

518 ノエル 気持ち悪くない。兄弟のことを悪く言う必要はないし、

519 僕は本当のことしか言えない

520 ラブラ ……ああ。そうだったな、ノエルは優等生だった。  
そういうところが一番嫌いだ

521 ノエル 僕は好きだよ。兄さんも、メイドも、メイド長も、  
写真屋さんだって。みんな好きだ。

522 ラブラ 博愛主義なお前と俺は違う。兄弟だからな

523 ノエル 双子のね

524 ラブラ 双子でも脳みそのシワまで一緒とは限らねえだろ

525 ノエル そんなこと、いわないで（悲しそうに）

526 ラブラ 俺とお前は違う！ どうやったって一緒にはなれない、  
同じことはできない！

527 ノエル ならどうして撮影機を壊したのさ！ 写真屋さんの大切な  
商売道具なんだよ。弁償すればいいってわけじゃない  
はずだ

528 ラブラ ……見合いでするのが俺だけなら、いいと思った  
……え

529 ノエル ……だから、姫と見合いをするのが俺だけなら選びようが  
ないだろって言ってんだ！

530 ノエル ……そのために、撮影機を壊したの？

531

532

533

534

535

536

537



538 ラブラ 写真がとれなければ……俺の写真があれば、それでいいと

539 おもって。もちろんあっちにも選ぶ権利はあるけど

540 ノエル ……ごめん、やっぱり馬鹿だよ、兄さん

541 ラブラ あんど

542 ・ノエル、ラブラに抱きつく

543 ラブラ な、おい！

544 ・ラブラ、抱きつくノエルをはらいのけようとするが、

545 ・ノエルは離れようとしな

546 ノエル 馬鹿だよ、僕なんかのために他の人の大事なもの

547 壊すなんて！（泣きながら叫ぶ）

548 ラブラ っ……！

549 ・ラブラ、動きを止めた壊した撮影機を見る

550 メイド ノエルさまっ……（涙だばだば）

551 ・写真屋、ぼうしをぬいで握りしめている

552 ノエル そんなことしなくたって、僕は、僕は兄さんに王様に

553 なってもらうつもりだったんだよ！ 見合いがあっても

554 なくても、姫がどっちを選ぼうとも、僕はっ……、

555 僕の好きな兄さんが王様になってくれるなら、弟として

556 がんばれるって、そう、おもっ……てたよ……

557 ・ラブラ、抱きついているノエルを見る

558 ノエル 今日いつにもまして機嫌が悪かったのは、それが理由なの？

559 ・ラブラ、ちいさくうなずく

560 ラブラ ……ずっと考えていた。姫が選ぶのはきつとノエルだ、

561 そうなれば王様はノエルになる。そしたら俺は

562 どうなるんだ、って……、そんなときにあの話を聞いて。

563 研究者になりたいとか知らなかったから

564 ノエル もつとはやくから……話せばよかった。自信がなくて、

565 誰にも言っていなかったんだ（なきやんでくる）

566 ラブラ あっそ。……てつきり、王になるために勉強してて、俺の

567 邪魔をしてるんだとおもったよ。そしたら薬を作る

568 ため、全然……違ってた。……だからさ。

569 俺にもやれることあったとおもって

570 ノエル やれること？

571 ・ノエル、ようやくラブラから離れ、顔を見上げる。

572 ・ラブラ、ノエルの頭をなでる。

573 ラブラ  
こんな俺でもできることがあるんだと思った。他でもない、

574 弟のお前のために、王って言う重たい責任を背負うことで  
お前がやりたいことやれるならそれでいいとおもった。

575

576 ノエル  
……兄さん……、ぼく、兄さんに、おう、さまにつ、  
なあってほしっ……

577

578 ラブラ  
……けど、俺は頭が悪いから。やっぱノエルのほうが  
ううん、絶対兄さんのほうがいい。僕は、問題は  
解けても……兄さんのように自分の言いたいこと  
579 ノエル  
言えないからっ……、相手の言うこと忖度するから  
580

581

582 ラブラ  
一応聞くけど、それほめてんの？

583 ノエル  
ふ……もちろんだよ

584 ラブラ  
そっか。……なあ、写真屋

585 写真屋  
あ、はいっ（はっ、としたように）

586 ラブラ  
悪かった、撮影機。もっといいやつ買うから、これからは  
新しい相棒とがんばってくんねえかな

587

588 写真屋  
……他の写真屋だったら、もっと怒ってたかも  
589  
しれませんが。私は、……じゅうぶんです

590

591 【写真屋、ノエルが怒ってくれたのと、ラブラが  
本当に謝っていることを理解したとばかりに  
うなずく】

592

593 ラブラ ……これからも頼む

594 写真屋 ええ、ええ。ラブラ様のお頼みとあれば、もちろん

595 ラブラ メイド長

596 メイド長 はい

597 ラブラ ノエルの顔なんとかしてやってくれ

598 ノエル えっ（驚いたように）

599 ラブラ ひどい顔だからな

600 メイド長 ……そうさせたのはラブラ様でしょうに

601 ラブラ ふん。……日を改めて新しい撮影機で写真とったら、俺のと一緒に送ればいいだろ

602 ノエル ……ううん、その必要はない、よ

603 ラブラ あ？

604 ノエル ……手紙を書く。姫に。僕には夢がある。目標がある。

605 ラブラ だから王様にはならない。兄さんを選んでほしいって

606 お手紙かく

607 ラブラ ……手紙……

608 ノエル うん。兄さんのいいところも悪いところも全部かく。

609 ラブラ そうして、姫には兄さんのこと知ってもらって

610 お見合いして好きになってほしいな。家族になるのなら

611 ……そううまくいくわけねえだろ

612 ラブラ

613 ノエル やる価値はあるさ！ そうと決まれば、ねえ、メイド！

614 メイド は、はい！（目をぬぐいながら）

615 ノエル 僕の部屋に紙とペン持ってきて！ 羊皮紙！

616 ちゃんと羽根ペンもね！

617 メイド ……はい、かしこまりました！

618 ノエル 先に部屋にいったる！

619 ・ノエル、舞台上手側へ嬉しそうに走ってはける

620 メイド えっ、お待ちください、ノエル様！

621 メイド長 あ、ノエル様！ おかおをふかなくては！

622 ・メイド、メイド長、ノエルを追いかけて上手へはける

623 ラブラ ……夢、か

624 ・写真屋、壊れた撮影機をなでながら、呟くラブラに尋ねる

625 写真屋 ラブラ様にも、あるのですか？

626 ラブラ あ？ うん、まあ。……王様として、

627 誰かの役に立つことかな

628 写真屋 立派なものではありませんか

629 ラブラ 撮影機 壊してるようじゃだめだよな

630

写真屋

それもまた運命だったとおもえば……

631

ドラマチックでいいと思いますよ

632

ラブラ

そりゃいい。それでいいなら、そういうことにしよう

633

写真屋

ええ、そうですとも。運命ならば、いたしかたありませんまい

634

・ラブラと写真屋、小さく微笑みあう

635

舞台) 暗転・場面転換

636

セットは壊れた撮影機と、上手の椅子を舞台からおろすのみ

637

## 11. 物語の終わり

638

舞台は暗い。

639

・上手からノエルが歩いてくる。スポットライトあわせる。

640

・下手まで歩く。

641

ノエル                    そうして、僕は手紙をかいた。兄さんのことを、10 枚に

642

わたって書いたんだ。それを見た兄さんは、やっぱり

643

気持ち悪いって言った。

644

・下手まで歩いたら、中央に向かって歩く。中央で立ち止まる。

645

ノエル

でも、顔は笑ってたから、本気じゃないと思う。姫に

646

伝わるといいな。兄さんが本当は優しくして、

647 ひねくれものの強がりだけど寂しがりやで、誰かがいない  
648 とだめな人だったこと。

649 ・下手からラブラが現れる。スポットライトあわせる。

650 ・ノエルと顔を見あわせると笑いつつ、上手へ向かって歩く。

651 ラブラ 姫と見合いをすることになって、その人はノエルの書いた

652 手紙と写真の俺が同一人物だとは思えなかったと笑って

653 言った。それでも、あってみたら手紙のとおりだと。

654 ・上手まで歩き、中央に向かって歩く。ノエルの隣で立ち止まる。

655 ラブラ 双子の弟のノエルは俺のことを理解してくれていたんだ。

656 俺は、姫にノエルは頭が良くて人思いの自慢の弟だとも

657 言っておいた。

658 ・ノエルとラブラ、向き合い、また正面を見る。

659 ラブラ その一日で、俺達双子は変わった。

660 ノエル この国を明るくてらす双つ（ふたつ）の星になったんだ。

661 ・照明全部つく

662 ・後ろにメイド、メイド長、写真屋キャストが立っている

663 ラブラ、ノエル Gemini ～双つの星～（じえみに ふたつのほし）

664 ノエル ありがとうございます

666

665

---

全員でお辞儀をして 終わり

全員 ありがとうございます